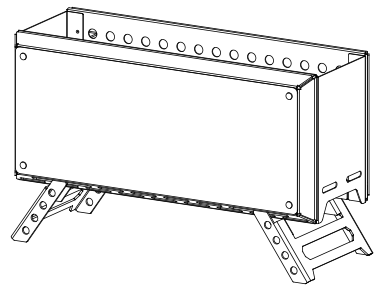


GEAR MISSION

型式 BF-GM1 焚火台（薪専用） 取扱説明書



FIREWOOD ONLY / 薪専用

このたびは GEAR MISSION 焚火台をお買い求めいただきまことにありがとうございます。

- ・ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき正しく使用してください。
- ・本説明書は、ご使用の焚火台と一緒に保管してください。

お願い

- ・ご使用により変形や歪みが発生することがあります。異常ではありません。
- ・本体にさびが発生することがあります。異常ではありません。
- ・公園や河川敷などの公用地やキャンプ場などの管理地で使用する場合は、各自自治体や管理者に確認してご使用ください。
- ・焚き火や火気類の使用が禁止されている場所では絶対に使用しないでください。
- ・成形加工をする過程で、金属面に加工キスが付くことがありますが、異常ありません。

安全のために必ずお守りください

- ・誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を下記の表示で区分し、説明しています。

	危険	誤った使いかたをしたときに、人が死亡または重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を表示しています。
	警告	誤った使いかたをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を表示しています。
	注意	誤った使いかたをしたときに、人が軽傷を負う可能性や物的損傷の発生が想定される内容を表示しています。

- ・お守りいただく内容を、次の絵表示で区分けしています。



危険

- 屋外で使用する**
風通しの良い屋外で使用してください。テント内、車内、室内など換気ができない場所では絶対に使用しないでください。火災や一酸化炭素中毒などの原因になります。

警告

- 本製品に異常が見受けられた場合はただちに使用を中止する**
異常のあるまま使用すると思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 不安定な場所で使用しない**
水平で安定する場所で使用してください。転倒して、火災ややけどのおそれがあります。

- 可燃物から離す**
使用する前に可燃物や熱による影響を受けやすいものが周囲にないかご確認ください。

- ジェル状着火剤のつぎたし使用禁止**
燃焼中にジェル状着火剤のつぎたしは絶対にしないでください。引火および着火剤が飛び散ることがあり、やけどや火災の原因になります。

- 強風下では使用しない**
強風下での使用は危険ですので、使用しないでください。また、使用中に風が強くなったら使用を中止してください。

- 薪以外は燃やさない**
燃やしてはいけないものに次のようなものがあります。炭、合板、つや加工あるいは化成処理された木材、液体燃料、大量の紙類、家庭から出るごみ。燃やしてはいけないものを燃やすと非常に高温になり、本体の損傷につながります。また、有害な煙を放出して環境汚染の原因になります。

- ガソリン・灯油・アルコールなどは使用しない**
着火剤や燃料として、ガソリン、灯油、液体アルコールなどは使用しないでください。やけどや火災の原因になります。

- スプレー缶厳禁**
スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを、焚火台に近づけたり、周囲に放置しないでください。熱で缶の圧力が上がると爆発のおそれがあり、危険です。

- 焚き火を監視する**
薪が爆ぜたり、火の粉が飛ぶおそれがあるため、常に火を監視して燃え移りなどが発生しないように注意してください。

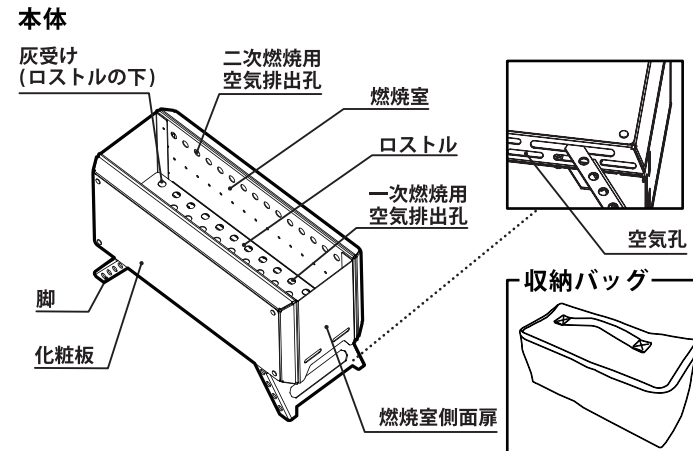
- 使用前に必ず点検をする**
点検をして、老朽化や損傷が認められたり、本製品の状態が疑わしい場合は直ちに使用を中止してください。本来の性能を発揮しないおそれがあります。

- 燃料は入れすぎない**
燃焼室からはみ出した状態で使用しないでください。熱の影響で本体が変形するおそれがあります。

- お子様やお年寄りに作業させない**
お子様やお年寄りに組み立てや火の番などの作業はさせないでください。やけど・けが・火災の原因になります。

- 焚き火中は移動禁止**
焚き火中は移動させないでください。灰などが落下して火災のおそれがあります。

PART NAMES / 各部のなまえ



注意

- 組み立て及び、収納の際は指や手をけがしないように注意する**
組み立て及び、収納の際は手袋を着用し指や手をけがしないようにご注意ください。また本製品には鋭利な部分がありますので、けがにご注意ください。

- 高温部接触禁止**
使用中や使用直後は本体が高温になります。手など触れないでください。やけどのおそれがあります。耐熱手袋を着用する他、火ばさみを使用するなど、やけどにご注意ください。

- 強い衝撃をあたえたり、脚を収納した状態で重いものを載せない**
変形し組み立てができなくなる場合があります。

- 脚を折りたたんだまま使用しない**
空気孔がふさがり異常燃焼するおそれがあります。本体が熱くなり火災のおそれがあります。

- 正しいお手入れのしかた、保管のしかたをする**
誤ったお手入れ方法や保管をおこなうと、本来の性能を発揮できないおそれがあります。

- 水を掛けて消火しない**
緊急時以外は水を掛けしないでください。急激な温度変化により破損・変形の原因になります。

- 必ず附属のロストルを使用する**
異常燃焼するおそれがあります。

- お子様の手の届かないところで使用・保管する**
けがや事故の原因になります。

- 脚開閉時の注意**
脚を開閉するときは、指や手を挟まないように注意してください。けがをするおそれがあります。

- 片側にはみ出す等不安定な状態でなべを置かない**
置いたなべが落下し、やけどのおそれがあります。

- 樹液の多い木材や湿った木材は燃やさない**
過度の炎が出たり、白煙が出て燃えない原因となる場合があります。

SPECIFICATION / 仕様

型式の呼び	BF-GM1
品名	焚火台
外形寸法	高さ 220mm×幅 357mm×奥行 149mm (燃焼室：奥行 100mm)
質量	約 4kg
耐荷重	約 6kg
材質	本体内部・ロストル：ステンレス 化粧板：鉄・珪瑯 脚：鉄・塗装
燃料	薪
付属品	収納バッグ ※開梱時、収納バッグは製品と梱包箱の間に入っています。

※化粧板の外周や「GEAR MISSION」の文字の縁が黒くなっていることがありますが、珪瑯加工上必然に発生するものです。異常ではありません。

- 灰処理・収納の際は、製品本体が冷えてからおこなう**
使用後は完全に燃料が燃えつき、十分に冷えたことを確認してから灰処理・収納をおこなってください。やけどやけがの原因になります。

- 使用後の残り火の始末に充分注意する**
灰の処理は十分に灰の温度が下がってからおこなってください。また、緊急時以外は本体に水を掛けしないでください。急激に温度が変化し、本体の破損・変形の原因になります。

- 高温部に注意**
使用中や使用直後は本体から高温の熱気が出ています。手や顔などを近づけないでください。やけどのおそれがあります。

- 使用の際は耐熱手袋や火ばさみなどを使用する**
細心の注意を払って作業してください。やけどのおそれがあります。

- テント付近で焚火台を使用するときの注意**
風向きによっては、焚火台からの排気がテント内に流れ込み、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

- 焚き火中は水を常備する**
焚き火中は緊急時に素早く消火できるように水を必ず常備してください。

- 耐荷重を超えるものを載せない**
耐荷重を超えるものを載せないでください。破損の原因になります。

- 設置や収納は必ず両手でこなう**
乱暴な取り扱いがや本体破損の原因になります。

- 分解改造の禁止**
製品の性能が出なくなってしまうおそれがあるため、分解改造はおこなわないでください。

- 空気孔をふさがない**
燃料や灰で空気孔をふさがないでください。燃焼室に空気を送ることができず、燃焼が促進されません。

HOW TO USE / 使いかた

⚠ 注意

❗ 使用の際は耐熱手袋や火ばさみを使用する

細心の注意を払って作業してください。
やけどのおそれがあります。

⚠ 使用後の残り火の始末に充分注意する

灰の処理は充分に灰の温度が下がってからおこなってください。
また、緊急時以外は本体に水を掛けしないでください。
急激に温度が変化し、本体の破損・変形の原因になります。

🚫 燃料は入れすぎない

燃焼室からはみ出した状態で使用しないでください。
熱の影響で本体が変形するおそれがあります。

⚠ 脚開閉時の注意

脚を開閉するときは、指や手を挟まないように注意してください。
けがをするおそれがあります。

🚫 空気孔をふさがない

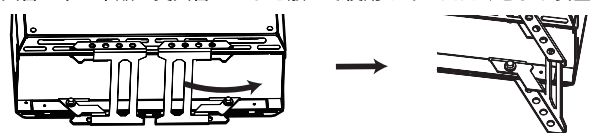
燃料や灰で空気孔をふさがないでください。
燃焼室に空気を送ることができず、燃焼が促進されません。

組立をする前にケガしないように保護具（手袋など）を着用してから作業してください。

使用前の準備

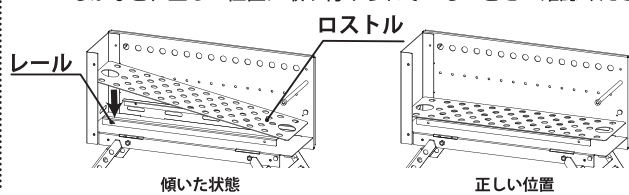
1 脚を広げて設置する

- ・水平で安定した場所に設置してください。
- ・乾いた草の上など延焼のおそれがある場所では使用しないでください。
- ・周りに可燃物がないことをご確認ください。
- ・焚火台の下に市販の焚火台シートを敷いて使用していただくより安全です。



2 ロストルの取り付け確認をする

- ・ロストルが傾いて灰受けに落ちていないか、レールの上に確実に設置されているかなど、正しい位置に取り付けられていることをご確認ください。



着火

1 着火する

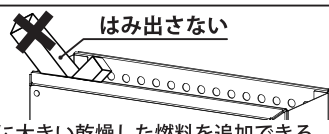
- ①ロストルの中心に市販の固形着火剤を置いてください。
- ②着火剤の上に空気の通り道を作りながら燃料（薪）を積み上げてください。



- ③柄の長いライターなどで着火剤に着火してください。
※燃焼室が充分に温まるまでは、煙やにおいが発生します。予めご了承ください。

2 燃料を追加する

- ・着火して火が安定してくると、徐々に大きい乾燥した燃料を追加できるようになります。空気の流れができるように燃料の位置を調整してください。
- ・燃焼が進むと燃焼室の上部まで燃料を積み込むことができます。ただし、燃焼室に燃料を過剰に充填すると燃焼が不完全になり煙が発生する可能性があります。
- ・必要に応じて燃料を追加してください。火ばさみ、鉄の棒などを使用し、火がついた燃料を動かし、燃焼室内に収めてください。
- ※灰が底に落ちて溜まる構造ですが、底部のすき間から若干地面に灰が落ちることがあります。
- ・次の清掃方法をご覧になり、溜まった灰を除去してください。
- ・また、灰を除去せずに使用続けると空気が燃焼室に入らず、燃焼が促進されません。



燃料について

- ・「燃料」は薪になります。
- ・薪専用に設計されていますので、薪以外は燃やさないでください。
- ・薪以外を燃やすと異常燃焼や本製品の歪みが大きくなるおそれがあります。
- ・本製品は長さ最大 35cm の薪が入るように設計されています。
- ※燃焼室に収まらないサイズの薪を投入しないでください。
- ※濡れていたたり、湿っている木材や葉を燃料にしないでください。不完全燃焼と煙の原因となります。



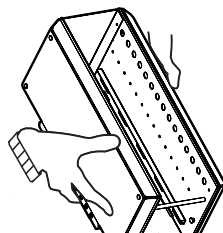
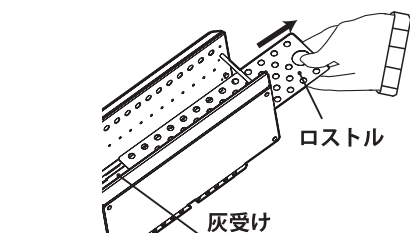
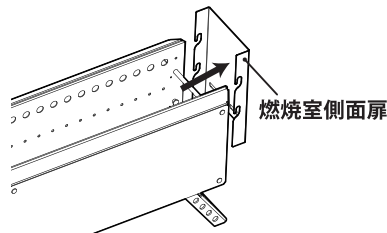
消火と清掃方法

【消火】

薪が燃え尽き、灰が冷えたときが消火です。灰が冷えるまでお待ちください。※緊急時以外は、水を掛けて消火しないでください。

【清掃方法】

- ①灰が冷えるのを待って、燃焼室側面扉を取りはずしてください。
- ②ロストルを取りはずしてください。ロストルに残った灰は灰受けに落としてください。
- ③灰を受けるトレイなどを用意して、本体を傾けて灰を落としてください。



※灰の廃棄は各自治体の指導に従ってください。

MAINTENANCE / お手入れ方法

- ・本製品が完全に消火し、冷えたことを確認してから灰を全て取り除いてください。
- ・油污れや焦げ付き、塩分などは食器用洗剤で汚れを落としてください。
- ・濡った紙タオル、布、またはブラシで拭いてから完全に乾燥させてください。
- ※間違っお手入れや保管方法は、本製品の寿命を縮めます。
- ※金属に水分や極端な熱変動が加わると、さびが発生します。
- 以下は本製品の寿命を伸ばして外観を保つための注意事項です。
- ・スチールたわしやクレンザーを使用すると、傷がつくことがあります。
- ・黒色塗装されている箇所を強くこすると、塗装がはがれるおそれがあります。
- ・本体を水に浸したり、水を掛けたりして丸洗いをしないでください。

AFTERSALES SERVICE / アフターサービス

- ・修理が必要な場合は、お買い求めの販売店または弊社のお客様相談窓口（0120-104-154）までお問い合わせください。
- ・保証期間中の修理に関しましては、保証書を提示してください。保証書の無料保証規定に従って修理させていただきます。
- ・保証期間が過ぎていても、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。修理料金は、技術料、部品代、出張料で構成されています。

BF-GM1 焚火台 保証書

型式 BF-GM1

製品保証対応期間：お買い求め日もしくは商品到着から 1 年間
初期不良対応期間：お買い求め日もしくは商品到着から 30 日間

※お買い求め日もしくは商品到着日 年 月 日

※お客様 姓 名 様
〒 □□□□ - □□□□

ご住所 _____
電話番号 () - _____

※印欄に記入がない、あるいは購入・支払いを証明するものがない場合は有料修理となりますから必ず確認し、購入証明書（領収書）を保管してください。

【無料修理規定】

1. お買い求め日もしくは商品到着日から保証期間中に、取扱説明書に従った正常なご使用状態で故障が発生した場合には、本書記載内容により、弊社が無料修理対応、製品交換、補修部品のお届けを致します。初期不良期間内に、万一製品の不具合・部品不足などございましたら、初期不良として不足部品の送付、部品や製品の交換対応を致しますので、必ず初期不良期間内にお申し出ください。簡単な調整や部品交換で機能が復元可能な場合は、お客様に調整頂く場合や、部品の交換で対応をお願いすることがございます。製品に定められた保証期間内、無料修理規定に沿うものであれば無料保証となりますが、無料修理規定にないものや、保証の適用外に該当するものは有料対応、もしくは対応をお受けできない場合がございます。
2. 製品保証をお受けになる場合は、本書あるいは購入日がわかるレシートや領収書、納品書・支払いを証明するものをご提示のうえ、お買い求めの販売店又は弊社お客様相談窓口にご依頼ください。
3. ご転居やご贈答品等でお買い求めの販売店に修理を依頼できない場合は、弊社お客様相談窓口までお問い合わせください。
4. 初期不良期間や、製品保証期間内でも、次の場合は有料となります。
(イ) 取扱説明書に従わない使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
(ロ) 製品を使用した後に判明した部品の不足及び使用上の不注意による故障及び損傷。
(ハ) 他社製品との組み合わせによる故障及び損傷。
(ニ) 手入れ不十分・不適切な保管、保守・整備の不備又は使用間違いや、構造の理解不足によって生じた故障及び損傷。
(ホ) 経年使用や持ち運びで生じた外観的な劣化・破損・剥離・汚れ・焦げ・焼け・歪み・傷、その他これに類する故障及び損傷。
(ヘ) お買い求め後の製品の転倒、落下、衝撃、輸送等による故障及び損傷。
(ト) 製品の不具合等に関連して生じる二次的、あるいは、派生的に発生した損害、損失及び費用。（一例としてはテントの破損やレンタル製品の破損修理・保障等）
(チ) 火災、地震、水害、塩害、落雷、その他の天災地変、公害、その他の環境要因による故障及び損傷
(リ) 部品の消耗（燃焼室、ロストル等）による故障や損傷、部品交換及びメンテナンス費用。

STORAGE / 保管

- ・直射日光の当たらない風通しの良い場所で保管してください。
- ・雨がかかる場所や、過度の湿気ある場所に本製品を置かないでください。
- ・脚を収納した状態で重いものをのせしないでください。
- ・変形し組み立てができなくなることがあります。
- ・お子様の手の届かないところに保管してください。

DISPOSAL METHOD / 廃棄方法

- ・製品や灰の廃棄方法は各自治体の指導に従って廃棄してください。

保証書は、本書記載内容により無料修理対応、製品交換、補修部品のお届けをお約束するものです。お買い求めの日もしくは商品到着日から左記期間内に初期不良や故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

※販売店名・住所・電話番号

- (ヌ) レンタルなどで多くのユーザーが使用された場合による故障や損傷、部品交換及びメンテナンス費用。
- (ル) 一般的に機能上は影響が無いと思われる音・振動等の感覚的現象や、塗膜の剥離を伴わない外観的な微細な傷。
- (ロ) 本書にお買い求め年月日もしくは商品到着日・お客様名・販売店名の記入のない場合、又は字句を書き替えられた場合。通信販売等で購入され、それを証明する商品の送り状・支払明細書の提示がない場合。ネット販売等を利用した個人売買品や譲渡品、中古品の修理。
- (ワ) 日本国外で購入した場合及び日本国外で使用した場合。
- (カ) 修理のご依頼に際して本書のご提示がない場合。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。
- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理対応、製品交換、補修部品のお届けをお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い求めの販売店または、弊社のお客様相談窓口までお問い合わせください。
- お客様の個人情報は、弊社規定により、厳格に管理します。保証期間内のサービス活動、及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

CUSTOMER SERVICE / お客様相談窓口

お客様相談窓口
0120-104-154
株式会社 トヨタ
〒467-0855
名古屋市中区瑞穂区花園町5番17号
受付時間：平日（月曜～金曜）：午前9時～午後5時
＜土日祝は除く＞
FAX からの場合 052-857-1220
https://www.toyotomi.jp/